

「チョコちゃん」に学ぶ！

校長 松本 雅史

NHKの教養というか半ばバラエティのような番組で、「チョコちゃんに叱られる」という番組があって、私は結構好きでよく見えています。

それはいいとして、今朝は「じゃがいも」と「さつまいも」の話から始めましょう。先生はじゃがいもから作るフライドポテトも、さつまいもから作るいし焼き芋もどちらも大好きです。皆さんはどちら派ですか？ということではありません。雛型先生が毎日だしている「ぱくぱく通信」でも以前に紹介されていましたが、じゃがいもは、茎が変化してできるのに対して、さつまいもは根が変化してできたものです。私は、茎と根は、地面の上か下かで区別されるものだと子どものころ思っていたのですが、実はそうではなかったのですね。

さあ、本題はここからです。

「ああそうなんだ！」と感心して、そこで終わってしまう日本人のなんて多いことか！しかし、チョコちゃんは、ここで終わりません！

「どうして??」がその後に必ず続きます。そして、その問いが鋭いのです。番組に出演しているタレントさんだけでなく、番組を見ている人も「そんなこと考えたこともなかった」「それは当たり前ですましていた」ということに「どうして？」と鋭く切り込んできます。「知っているつもり」でのほほんと過ごしてきたその生きる姿勢に対して「ぼーっと生きてんじゃねえよ！」と一発かますわけです。ただし、この「ぼーっと生きてんじゃねえよ！」といういい方には教育上問題がありますね。「ほおっと生きるのはいかがなものでしょうか？」こんなものではどうでしょう。タレントさん呼び捨てにするのもちょっと失礼ですよ。私が今日の日直の先生の（ ）先生を「ねえねえ、〇〇」なんて呼んだら、やっぱり違和感がありますよね。あれは番組の中の話ですから、校長先生はまねしませんよ。

では、「じゃがいもは、茎が変化してできるのに対して、さつまいもは根が変化してできたもの」の先に、どんな問いが生まれるのでしょうか？チョコちゃんだったらどんな質問を考えるのでしょうか。

- ・茎からできる芋と根からできる芋にはどんな違いがあるの？
- ・栄養とかに違いはあるの？
- ・どうしてそんな違いができたの？
- ・そもそも「くき」と「ね」はどう違うの？
- ・茎や根でないもってあるの？

皆さんだったら、もっと凄い「問い」を見つけるでしょう。

世の中はこうした「知っているつもり」であふれています。そして、その「知っているつもり」の中には面白い問題がたくさん潜んでいます。学校はある意味、皆さんの「知っているつもり」をどんどん広げていくところです。学んで新しく知ったことやできるようになったことは次の瞬間、「知っているつもり」になります。でも、本当の学びはそこからなのです。「どうして?」「どうして?」と新しい問題を皆さんの自由な発想で見つけて、これまでにない学びの楽しさ、新しい学びの挑戦を、自分自身の手で創りだして行って欲しいと思います。先生方も、そうした学びの応援をどうぞよろしくお願いします。

これで今朝の話を終ります。